

第70回仙台市中学校総合体育大会について

1. 主催 仙台市中学校体育連盟 仙台市教育委員会
2. 主管 仙台市中学校体育連盟柔道専門部
3. 目的 仙台市内中学校生徒相互の親睦と柔道技能の向上と普及をはかる。
4. 日時 令和3年6月12日（土）～13日（日）

6月12日（土）	6月13日（日）
【男女団体戦 予選・決勝】 【女子個人戦】 7:30 役員集合・会場準備・点検 8:00 開場 受付 8:20～8:45 男女団体戦 女子個人戦 非公式計量 8:45～9:15 公式計量 柔道衣検査 9:15～9:45 監督会議 9:45～9:55 開始式 10:00～ 男女団体戦 競技開始 男女団体戦が終わり次第 男女団体表彰式 消毒作業後 女子個人戦 競技開始 女子個人戦が終わり次第 女子個人表彰式 ※エントリー数によって、試合方法の変更あり	【男子個人戦】 7:30 役員集合・会場準備・点検 8:00 開場 受付 8:20～8:45 男子個人戦 非公式計量 8:45～9:05 公式計量 柔道衣検査 9:05～9:35 監督会議 9:35～9:45 開始式 9:50～ 男子個人戦 競技開始 女子個人戦が終わり次第 女子個人表彰式 顧問中心で会場撤収 ※エントリー数によって、試合方法の変更あり

5. 会場 宮城県武道館（仙台市太白区根岸町15-1 TEL249-1216）
6. 参加資格
 - ① 各学校長の責任の上、選手に参加の意思を確認し、保護者から承諾を得たうえで、大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン（PDF）に沿って、下記を提出した生徒であること。（感染拡大予防ガイドラインは仙台市中学校体育連盟 web サイトよりダウンロード。）
 - i 健康チェックシート（様式1-1，大会当日受付に提出）
 - ii 学校同行者一覧表（様式1-2，大会当日受付に提出）
 - iii 参加同意書（様式2，大会前までに学校長へ提出）
 - iv 体調記録表（柔道部会が独自に定めた様式，大会当日受付に提出）
 - ② 大会参加に支障があると判断した際は、無理に参加をさせない。選手が風邪の症状等、体調不良の際は免疫低下が懸念され、新型コロナウイルスに感染する可能性が高まるため休養を優先にし、参加させないよう各校で指導する。
 - ③ 大会当日、体温が37.5℃以上またはせき・だるさ等の体調不良が確認された場合、専門部として入場を認めない場合がある。
 - ④ 仙台市内の中学生で、6ヶ月以上の柔道修行者であること。なお、特に1年生がその条件を満たさない場合があるので、大会に参加する1年生については「初心者の大会参加に関する同意書」を提出した生徒であること。「初心者の大会参加に関する同意書」は大会当日受付に提出すること。

- ⑤ 個人情報の取り扱いについて次のことに同意すること。大会主催者は個人情報保護に関する法令を遵守し、取得する個人情報について適正に取り扱う。取得した個人情報は競技大会の資格審査、競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成、掲示板、報道発表、記録発表等、競技運営および協議に必要な連絡に利用する。
- ⑥ 脳震盪に関する扱いは以下のとおりとする。選手及び指導者は下記事項を遵守すること。
 - ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け出場の許可を得ること。
 - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急専門医（脳神経外科）に精査を受けること。）
 - ウ 練習再開に際しては脳神経外科の診断を受け許可を得ること。

7. 種 目

- ① 男子団体戦
 - 各校1チーム出場。1チーム5名とし、体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。（補員3名を登録できる）
- ② 女子団体戦
 - 各校1チーム出場。1チーム3名とし、体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。（補員2名を登録できる）
- ③ 男女個人戦
 - ① エントリーは各階級4名以内とする。
 - 男子 50 55 60 66 73 81 90 90超
 - 女子 40 44 48 52 57 63 70 70超

8. 競技規則 国際柔道連盟試合審判規定（2018～2020）及び国内における「少年大会特別規定」今大会申し合わせ事項によって行う。

(1) 団体戦

- ① 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
- ② チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
 - ※ 選手変更は、その都度監督が所定の用紙に記入し、以下の通りとする。
 - ア 記録本部に提出する。
 - イ 委員長に提出。
 - ウ 試合会場のオーダー用紙を顧問が訂正。
 - ※ ただし提出締め切りは、以下の通りとする。
 - アは試合開始の1試合前までとする。ただし、連戦の場合は試合が始まる前までに提出する。
 - イ、ウは、試合が始まる前までとする。
- ③ 試合時間は3分間とする。代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ④ 勝敗の基準は、「一本」,「技あり」または「僅差(指導差2)」以上とする。

- ⑤ 優劣の成り立ちは以下の通りとする。

「一本」＝「反則勝ち」＞「技あり」＞「僅差」

- ⑥ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。
- ⑦ リーグ方式の順位は、次の方法によって決定する。
- ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
 - イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
 - ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
 - エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
 - オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
 - カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する（3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う）。
- ⑧ トーナメント方式の順位は、次の方法によって決定する。
- ア チーム間における勝ち数による。
 - イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
 - ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
- (2) 個人戦
- ① 各階級トーナメント方式とする。
 - ② 試合時間は3分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
 - ③ 優勢勝ちの判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差（『指導』の差2以上）」とする。得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦では技による得点がない場合、「指導」の差がついた時点で勝敗を決する。
- (3) 柔道衣は白色とする。
- (4) 講道館から正式に段位証書が交付されている有段者（受験に受かった有段者）は黒帯を用いること。

9. 試合方法

(1) 団体戦

男子・女子は予選をリーグ戦で行い、各組の1位と2位のチームで決勝トーナメントを行う。ただし、参加チーム数によっては試合方法の変更もある。

(2) 個人戦

男女ともトーナメント方式で行う。ただし、出場選手が3名のときはリーグ戦とする。

10. 計量及び柔道衣点検及び検温

(1) 計量

- ① 公式計量の前に非公式計量を行うことを認める。
- ② 非公式計量では指定時間内に自由に体重を計測できる。
- ③ 公式計量は指定された時間に1回とし、再計量は一切認めない。別室計量が必要な

ものは予め申し出ること。

- ④ 公式計量の服装は、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。また、サポーターについては、金具等が入っているものは使用できない。使用した場合は反則負けになる。
- ⑤ 団体戦では登録選手全員が測定を行うこと。
- ⑥ 個人戦では定められた体重区分にないものは失格とする。

(2) 柔道衣点検

- ① 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格している認証柔道衣、帯を着用すること。
- ② 柔道衣にはゼッケン（学校名・名字入り）を縫い付けて出場すること。
 - ア 布地は白とする（晒・太綾）。
 - イ サイズは横30cm～35cm、縦25cm～30cm
 - ウ 名字は上側2/3、学校名は下側1/3の割合を基準とする。
 - エ 書体は太字ゴシック体を基本とする。男子は黒色、女子は赤色。
 - オ 縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- ③ 女子は上衣の下に次のいずれかを着用しなければならない。
 - ア 相当の丈夫さがあり、下穿きの中に入る十分な長さのある白色、または白色に近い色無地のTシャツ。
 - イ 白色、または白色に近い無地のレオタード。
- ④ 柔道衣点検の際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。
- ⑤ 胸のマーキングは学校名・校章のみ許容する（道場名は不可）。ブランド商標以外のメッセージやイニシアルなどのマーキングは認めない。
- ⑥ 下穿きの下に膝下より長いロングスパッツを着用することは認めない。

※ 国内大会における女子選手Tシャツ、マーキングについて

ア 色は白、半袖、丸首

イ 製造業者マークは、最大20cm²のサイズであれば認められる。柔道衣を着用した際に、製造業者マークが見えてはならない。

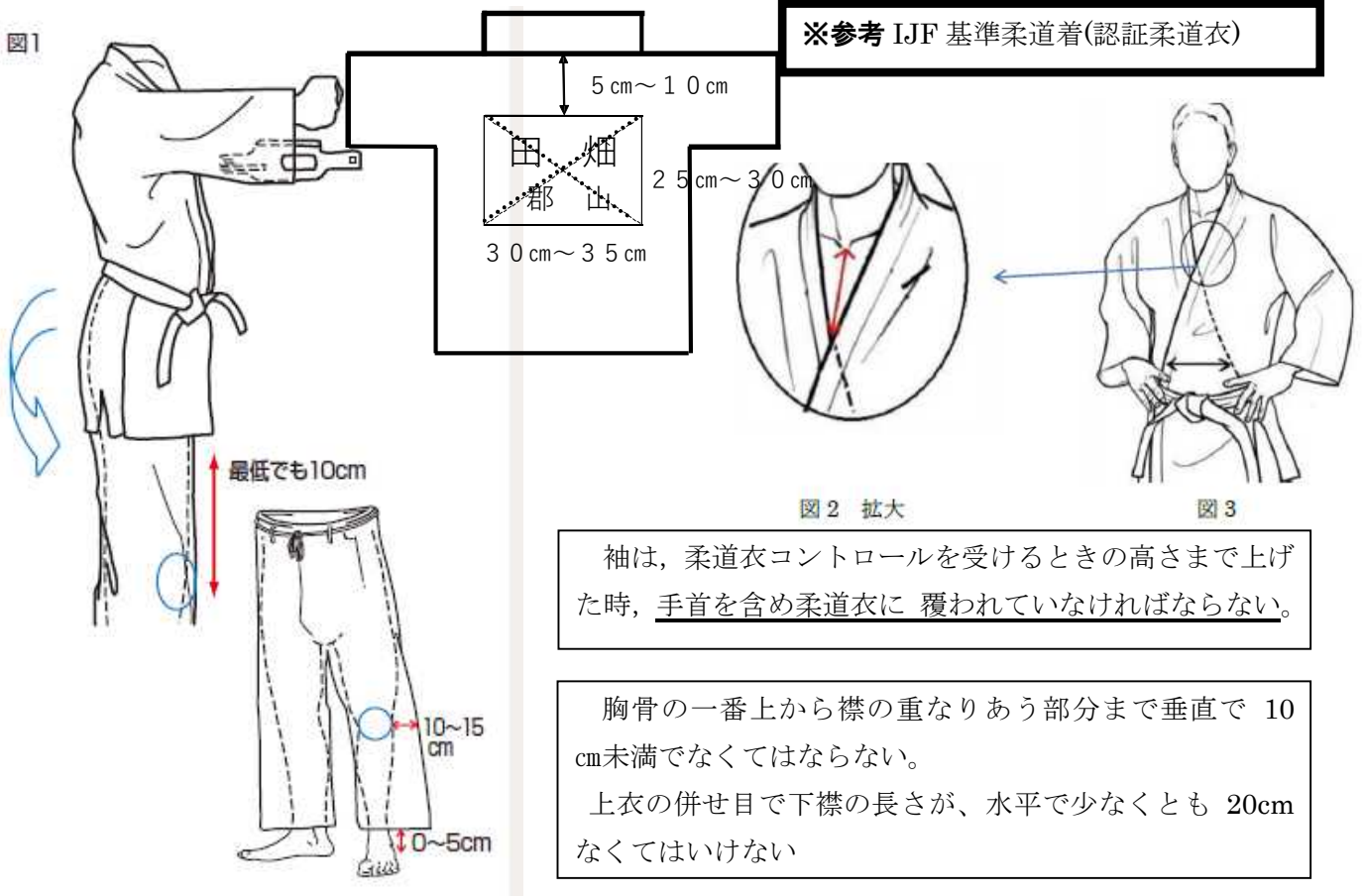
ウ 正式な国家、NOC、もしくはIJF加盟連盟のエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大100cm²とする。

エ 所属名称もしくは、所属を表すエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大100cm²とする。いかなる商業的なマーキングもつけてはならない。

(3) 検温

37.5℃以上ある場合は、開始式後に再検温する。それでも体温が高い場合は、大会の出場を認めない。

図1



※参考 IJF 基準柔道着(認証柔道衣)

図2 拡大

図3

袖は、柔道衣コントロールを受けるときの高さまで上げた時、手首を含め柔道衣に覆われていなければならない。

胸骨の一番上から襟の重なりあう部分まで垂直で 10cm未満でなくてはならない。
上衣の併せ目で下襟の長さが、水平で少なくとも 20cm なくてはいけない

11. 引率及び監督等

- (1) 監督、引率は当該校の校長・教員・部活動指導員(※1)とする。ただし、部活動指導員は教育委員会設置要項のもと、以下の条件を満たしていなければならない。
 - ① 満20歳以上であること。
 - ② 主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。
 - ③ 他校と兼務していないこと。
 - ④ 中学校体育連盟の主催とする研修会を受講していること。
 - ⑤ 次のいずれかに当てはまる者とする。
 - ア 教育職員免許法に基づく免許を有する者。
 - イ 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。
 - ウ 競技の専門性と学校教育に関する理解を有し、適切な指導を行うことのできる者。
- ※1 ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者をいう。
- (2) 部活動指導員が監督、引率をする場合、教育活動の一環としての大会であるとの観点から、「顧問または当該部活動を担当する教諭等」(※2)がチームに帯同すること。
 - ※2 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令」1 部活動指導員の職務 第2留意事項(3)(4)より。
- (3) 大会では外部コーチを置くことができる。ただし、令和3年度に外部コーチ登録をした者のみとする。外部コーチには教員の登録を認めない。また同一人が複数校の外部コ

一チになることはできない。

- (4) 全日本柔道連盟が示す「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を熟読し参加すること。
- (5) 審判員に準じた服装をすること。
- (6) 健康チェックシート（様式1-1）を大会当日に提出すること。

12. 申し込み 別紙申込用紙に記入の上、**5月6日（木）16:45**まで必着で、仙台市立郡山中学校・田畑宛てにデータをC4thで、申込書の原本は**5月10日（月）**まで。C4thが導入されていない学校は、郡山中のメールに送ること。

13. 抽選会 5月12日（水） 午後3:00～ 於 仙台市立南光台中学校

14. 表彰 (1) 男子・女子団体戦

優秀校は、男子第3位まで、女子第2位まで表彰する。今大会の結果は、県大会のシードに反映する。

(2) 男子・女子個人戦

優秀選手は男女とも第3位まで（男女とも4名）表彰する。なお、出場人数が少ない場合には、部会の内規に準じて行う。

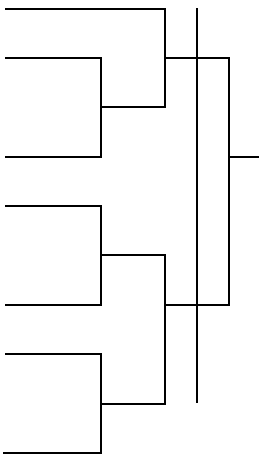
出場選手が少ない場合の表彰（内規）

参加者数8名以上	参加者数7名～3名	参加者数2名～1名
3位（ベスト4）まで表彰	2位まで表彰	1位のみ表彰

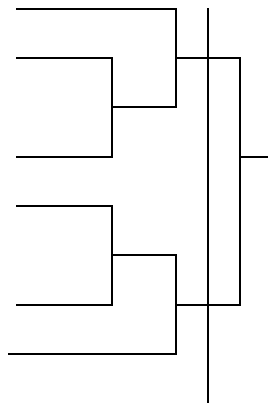
<内規の基準>

- ・入賞選手を決定するための決定戦は行わない。
- ・7名以下の場合の表彰は以下の通りとなる。

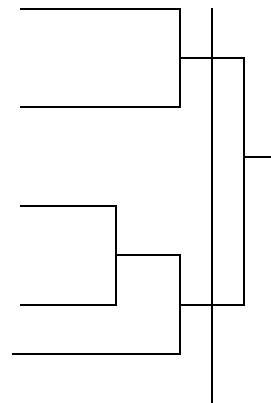
●参加選手7名→2位まで



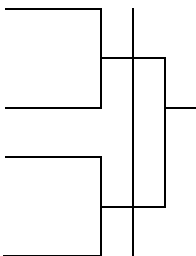
●参加選手6名→2位まで



●参加選手5名→2位まで

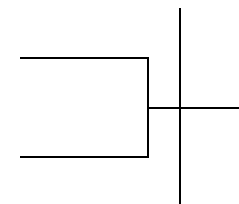


●参加選手4名→2位まで



●参加選手3名→2位まで
リーグ戦

●参加選手2名→1位のみ



※ 棄権により人数が少なくなった場合でも大会にエントリーした選手の数に即して表彰を行う。

(例) 当初8名だった(トーナメント表には8名の図がある)が、棄権により7名になった場合には、3位(ベスト4)まで表彰を行う。

15. その他

(1) 柔道精神に反する一選手は大会への出場を停止する。

(2) 柔道選手らしからぬ髪型(パーマ、剃り込み、染色・脱色、異常なかりあげ等)や眉(剃り込み・剃り上げ)の認められる選手の出場は認めない。

(3) 会場の入場制限について

今大会は、無観客で行う。1階柔道場へ入場できるのは、大会役員・競技役員・大会登録選手のみに限る。その他は、部会長・副部会長・委員長が認めた者のみである。大会登録選手以外の部員の場合は、2階観客席に入場することは認めるが、1階への入場は認めない。無観客試合のために、保護者駐車は禁止する。ただし、送迎のための停車は認める。数に限りがあるので、お互いのことを思いやって行動する。駐車場でのトラブルは一切関与しないので、保護者に周知徹底を行う。

(4) 大会の衛生について

新型コロナウイルス感染症の感染防止に関して参加者の安全安心を第一に考え、全日本柔道連盟、宮城県柔道連盟、宮城県中学校体育連盟、宮城県武道館等からのガイドライン、大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドラインに基づき大会運営を行う。大会関係者は、武道館、試合会場に入場する際は必ず設置されている消毒剤で手指消毒を行い、マスクを着用する。選手は、練習、試合以外ではマスクを着用し、試合場に入場する際、足消毒マットを踏んで足の消毒も行う。審判員はマスクを着用する。なお、大会登録選手は練習・試合を行う際には、クリアファイル・ジップロック等にマスクを入れて管理する。(クリアファイル等はA5サイズのを各校で準備し、学校名、氏名が見えるように記入させ、顧問が必ず確認する。さらに、参加校は手指消毒等のための消毒用アルコールを持参する。

(5) 会場の入場について

武道館1階観客入口から入場する。生徒だけで入場せず、必ず引率の教員と一緒に入場し、受付で、顧問が健康チェックシート(様式1-1)、学校同行者一覧表(様式1-2)、体調記録表は必ず提出し、初心者への大会参加に関する同意書がある生徒は提出する。その後に検温が終了してから入場し、2階の観客席へ進む。役員は1階玄関から検温後に入場する。

(6) 待機所や応援について

選手は待機所ではマスクを着用し、なるべく密にならない状態をつくる。席は1つおきに座る(使用禁止には座らない)。コロナ対策の一環として、声を出しての応援・声援は禁止とする。ただし、試合が中断している時の監督からの指示は認める。

(7) 着替えについて

選手は指定された場所で更衣を行う。男子は2階観客席で行い、更衣室は使用しない。女子は1階の女子更衣室を利用する。

(8) 柔道衣・計量について

柔道衣は、IJF認証のものを着用する。洗濯(消毒)がされていて衛生上、問題のないものを着用する。サポーターも同様である。

計量は当日計量で、同時に検温も行う。

(9) 選手が準備するもの

マスク、着替え、ビニール袋（使用後の柔道衣を入れる）、マスク入れ（クリアファイル A5・ジップロック等）を準備する。選手は学校名、氏名が見えるように記入し、顧問が必ず確認する。さらに、参加校は手指消毒等のための消毒用アルコールを持参する。

(10) 選手の試合場の入退場について

入場の際は、柔道場入り口で消毒を忘れずに行う。試合後は、アルコール除菌をして待機所へ戻る。試合場の入り口など、密にならないように各自が気を付ける。密になっていた場合、試合を止めるなどの措置も検討する。

(11) 試合について

1日目は、男女団体戦、女子個人戦を実施する。団体戦は、予選男子 A、予選男子 B、女子総当たり戦、男子決勝トーナメントの順に行う。男子決勝トーナメントが終わり次第、男女団体戦の表彰式を行う。団体戦表彰式終了後、女子の個人戦を行う。各階級の決勝戦を残し、決勝戦終了後に表彰式を行う。出場者が1名しかいない場合も、必ず勝ち名乗りを受ける。

2日目は、男子の個人戦を行う。各階級の決勝戦を残し、決勝戦終了後に表彰式を行う。出場者が1名しかいない場合も、必ず勝ち名乗りを受ける。

※ ただし、エントリー数によって、2日間とも試合方法の変更もある。

(12) 消毒について

試合場係中心で行う。団体戦の消毒作業は、1試合ごとに行う。表彰式終了後にも行う。個人戦は、6試合ごとに行う。

(13) 監督会議・開会式・開始式・表彰式・閉会式について

監督会議は柔道場で行う。

開会式・閉会式は行わず、2日間とも開始式、表彰式を簡略して行う。開会式を行わないため、優勝杯の返還、選手宣誓は行わない。なお、表彰は内規に準じて賞状を授与する。

(14) 昼食について

2階観客席で、対面や密にならないように食べる。各校で出したゴミは、必ず持ち帰る。

(15) 体調に異変を生じた生徒がいた場合は、顧問が大会本部へ必ず報告をする。

(16) 試合後について

自分の試合が終わり次第、生徒を出来るだけ帰宅させる。その際、顧問は大会運営の仕事があるため、会場に残ることとする。もし、生徒と一緒に帰る必要がある場合は、大会が終わるまで生徒を残す措置をとる。保護者が迎えにくる場合は、武道館側に車を停車させる。剣道部会も同様な処置をとるため、駐車ではなく停車の呼びかけをする。数に限りがあるので、お互いのことを思いやって行動する。駐車場でトラブルは一切関与しないことを、保護者に周知徹底を行う。なお、生徒は顧問に確認もなく、勝手に帰ることは絶対にさせない。保護者との連絡を密にする。

(17) 駐車券について

顧問と申請している外部コーチには配布する。ダッシュボードに駐車券を見えるように置く。

駐車場所は、剣道部会と検討し、抽選会で報告する。

(18) 不測の事態が生じた場合、部会長、副部会長、委員長が協議し、対応を決定する。

(19) 選手の移動経路は、上るときは駐車場側階段、降りるときは道路側階段を使用する。(大会役員は除く。)

(20) 試合場運営(タイマー、記録、掲示等)については大会役員のみで行う。

(21) 一昨年度の各階級の優勝者は以下の通りである。前日準備か大会1日目に返還する。

	団体戦	六郷中学校			団体戦	七郷中学校	
	男子	50kg級	永友		錦ヶ丘	女子	40kg級
	55kg級	尾曾	学院		44kg級	大川口	七北田
	60kg級	尾坪	上杉山		48kg級	佐々木	鶴谷
	66kg級	今井	中田		52kg級	鈴木	錦ヶ丘
	73kg級	坂元	広瀬		57kg級	横野	七郷
	81kg級	板橋	六郷		63kg級	木村	幸町
	90kg級	守	中野		70kg級	瀬戸	郡山
	90kg超級	尾形	郡山		70kg超級	横野	七郷

(22) 中総体期間中に大会が開催されない場合、団体戦と個人戦の順番を入れ替える。その場合は、その日に行われる階級の登録選手のみが大会に参加する。※エントリー数によって、階級の変更もある。

(例) 6/19(土) 午前 男子50kg+女子4階級 午後 男子55kg+女子4階級

6/20(日) 午前 男子60kg+男子90kg+男子90kg超

午後 男子66kg+男子73kg+男子81kg

6/26(土) 男子・女子団体